

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

781

健康わかやま 2 1 推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	1	健康づくりの推進
取組方針	1	生涯を通じた健康づくりの推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		地域保健費	
	大事業		地域保健事業	
	中事業		健康わかやま 2 1 推進事業	

事業種別	継続			関連個別計画	健康わかやま 2 1 (第2次)		
事業年度	平成15年度	～	無し	担当課・担当課長・Tel	地域保健課	西 喜彦	488-5119
事業実施の根拠法令	健康増進法			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	市民が1次予防として、健康的な生活習慣づくりに取り組んでいる状態を目指す		健康わかやま 2 1 推進協議会を年1回(中間評価、最終評価の年度には複数回)開催し、健康づくりに関する基本計画「チャレンジ健康わかやま(健康わかやま 2 1(第二次))」の関連各課等における取組状況の報告や進行状況の確認、活動計画の検討、情報の交換を実施			
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
	「チャレンジ健康わかやま」の関連各課での取組実績等の確認、評価のための調査。	・「チャレンジ健康わかやま」の関連各課での取組実績等の確認、中間評価 ・歯科健診等を行う街角歯科健診の実施	・「チャレンジ健康わかやま」の関連各課での取組実績等の確認 ・歯科健診等を行う街角歯科健診の実施	・「チャレンジ健康わかやま」の関連各課での取組実績等の確認、中間評価 ・歯科健診等を行う街角歯科健診の実施	・「チャレンジ健康わかやま」の関連各課での取組実績等の確認 ・歯科健診等を行う街角歯科健診の実施	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,313	1,217	3,179	3,086	463	443	463	0	463	0
伸び率(%)	550%	572.4%	142.1%	153.6%	△85.4%	△85.6%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	10,130	13,799	14,626	16,384	17,075	16,511	15,464	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	10,130	13,799	14,626	16,384	17,075	16,511	15,464	0	0
国庫支出金	130	130	130	130	130	130	130	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,183	1,087	3,049	2,956	333	313	333	0	463	0
所要人数(人)	正規職員	1.27	1.73	1.83	2.05	2.12	2.05	1.92	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	附属機関委員報酬230千円、業務委託料2,728千円、食生活改善推進協議会補助金43千円、歯の衛生週間行事運営費補助金65千円等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
禁煙に関する啓発回数		回	目標値	204	204	204	204	204
			実績値	205	204	208		
			達成度(%)	100.5%	100%	101.9%	%	%
健康づくりに取り組んでいる人の割合		%	目標値	65	65	65	65	65
			実績値	58.9	60.5	62.2		
			達成度(%)	90.6%	93.1%	95.6%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	事業内容自体が、市の健康増進計画やそれに対する取組みを「見直し」「改善」しながら推し進めていく役割を担っており、その方向性を今後も変わらず維持していく。現状として、協議が必要な事項がある年度（中間評価、最終評価時等）には、必要に応じて協議会の開催回数を増やしており、それも今後、維持していく予定である。
見直し・改善内容	第1次計画では、毎年、取り組み実績の確認をしていたが、その評価については5年後（中間評価）、10年後（最終評価）に行っていた。「改善」として、今回の第2次計画からは、評価材料の1つである各分野の指標について、可能な範囲で値を毎年確認し、庁内推進委員会及び和歌山市健康わかやま21推進協議会において提示・協議することとした。これにより計画の進捗状況がより詳しく把握でき、取組みに反映させることが可能となる。★平成29年度に行った生活習慣調査では、調査内容を見直し、これまでの協議会で挙げた課題に関する設問を取り入れた。